

平成19年度
事業報告書
(第57期)

自 平成19年4月 1日
至 平成20年3月31日

財団法人 潤和リハビリテーション振興財団

目 次

保健医療学術研究事業

1 潤和リハビリテーション診療研究所	
1) 研究事業	2
外部委託研究	2
内部研究	2
2) 普及事業	3
リハビリテーションに関する啓発活動	3
福祉用具専門相談員指定講習会の開催	3
認知症介護研修会の開催	3
宮崎県県央地域リハビリテーション 広域支援センターの活動	3
高齢者ソフト食の普及啓発活動及び研究推進	3
3) 在宅及び通所機能訓練の推進事業	4
2 附属機関の運営事業	
1) 潤和会記念病院	4
2) 潤和会検診センター	5
3) 延岡リハビリテーション病院	5
4) 所沢リハビリテーション病院	5
	6
5) 介護老人保健施設 ひむか苑	6
6) 潤和会在宅医療支援センター	6

理学療法士養成事業

宮崎リハビリテーション学院	7
---------------	---

処務の概況

1) 役員に関する事項	8
2) 評議員に関する事項	9
3) 職員に関する事項	9
4) 理事会に関する事項	10
5) 評議員会に関する事項	11
6) 契約に関する事項	12
7) その他の事項	12
	13

はじめに

身体の疾病あるいは災害によって障害を生じた者の機能回復（リハビリテーション）に関する研究と併せて、疾病の予防・治療など保健事業を総合的に推進することを目的として、次の事業を実施した。

保健医療学術研究事業

1 潤和リハビリテーション診療研究所

当研究所においては、疾病あるいは災害により身体に障害を生じた者の機能回復（リハビリテーション）に関する研究を行い、併せて疾病の予防・治療及び予後のケアなど保健・医療事業を総合的に推進するため、リハビリテーションに関する基礎的及び臨床的研究を当財団内部関連施設と外部関係医療機関・研究機関へ研究委託することによって事業を推進した。

地域リハビリテーション推進事業については、普及事業の一環として前年度に引き続き宮崎県指定の「福祉用具専門相談員指定講習会」並びに宮崎県より委託を受けた「認知症介護研修会」の開催、宮崎県の指定を受けた県央地区の地域リハビリテーション広域支援センターの運営、そして高齢者ソフト食の改良研究と普及啓発を推進し、広く医療福祉従事者の専門性・技術向上を図り、リハビリテーション施設の支援と連携に努めた。

1) 研究事業

外部委託研究

研究テーマ	研究委託先
コンピューター化リハビリテーション機器の開発	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 川平 和美先生他7名
認知機能障害のリハビリテーションにおける補助療法の開発	大分大学医学部脳神経外科 上田 徹先生他2名
急性期脳卒中ユニットにおける包括的摂食嚥下リハビリテーションプログラムの開発	杏林大学医学部リハビリテーション医学教室 山田 深先生他9名
急性中大脳動脈閉塞症に対する t-PA 製剤静注療法	宮崎大学医学部臨床神経科学講座 大田 元先生他3名
ノンパラメトリック Wilcoxon の累積正確確立分布数表の拡大 $W(200, 200)$ について	宮崎大学教育文化学部 伊喜 哲一郎先生

* 研究結果報告については、別冊「潤和リハビリテーション診療研究所平成19年度事業報告書」に記載

内部研究

研究テーマ	研究者氏名
頸椎後縦靭帯骨化症の診断、治療	潤和会記念病院脳神経外科 呉屋 朝和
脊髄刺激療法におけるデュアル刺激の有用性の検討	潤和会記念病院麻酔科ペインクリニック 宇野 武司
効果的な早期リハビリ開始のための鎮静薬の投与法の研究	潤和会記念病院集中治療室 中村 禎志他6名
当科でのリウマチ治療におけるタクロリムスの位置付け	潤和会記念病院整形外科リウマチ科 牧野 晋哉
訪問リハを1年以上利用している者の現状について	潤和会記念病院訪問リハビリテーション事業所 木村 一美他2名
アルツハイマー病やパーキンソン病などのスクリーニングテストへの嗅覚評価導入に関する臨床的有用性について	宮崎リハビリテーション学院作業療法学科 関 一彦他6名
高齢者ソフト食3の開発と栄養ケア・マネジメントの検証	高齢者栄養管理研究会 黒田 留美子他

* 研究結果報告については、別冊「潤和リハビリテーション診療研究所平成19年度事業報告書」に記載

2) 普及事業

リハビリテーションに関する啓発活動

地域リハビリテーションの知識や技術の普及を積極的に支援するため、関係機関・各種団体からの要請を受けて、研修会講習会等へ講師を派遣した。

福祉用具専門相談員指定講習会の開催

宮崎県知事の指定を受けた講習会を下記のとおり開催した。

回数	開催期間	受講者数
第1回	平成19年6月18日(月)～6月22日(金)	35名

認知症介護研修会の開催

宮崎県の委託を受けて、下記のとおり研修会を開催した。

課程	開催期間	受講者数	
実践者 研修	第1回	平成19年6月4日(月)～6月8日(金)	35名
	第2回	平成19年10月22日(月)～10月26日(金)	34名
実践 リーダー 研修	講義演習	平成19年7月30日(月)～8月10日(金)	8名
	施設実習	平成19年8月20日(月)～8月24日(金)	
	自施設実習	平成19年8月25日(土)～10月18日(木)	
計		77名	

宮崎県県央地域リハビリテーション広域支援センターの活動

宮崎県からの指定を受け、財団附属機関の機能を活用し、圏域のリハビリテーションに関する支援普及活動を行った。

) リハビリテーション実施機関等への支援

相談窓口の設置

リハビリに関する相談対応件数・・・41件

広報活動

公文書を関係機関に送付し、広域支援センター活動のPRを行った。

) リハビリテーション施設の共同利用

共同利用については、申し出が無く実績なし

) リハビリテーション従事者の援助及び研修

・技術指導援助

指導要請に基づく技術員派遣・・・延11回

・研修会の開催

延12回開催

) 連絡協議会の設置・運営

宮崎県寝たきり予防推進支部会議(宮崎東諸県圏域)、地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議等に出席した。

高齢者ソフト食の普及啓発活動及び研究推進

診療研究所の内部研究事業として取り組んできた高齢者ソフト食について各方面からの講演依頼に応え、講師を派遣し普及啓発に努めた。また、ソフト食の研究も引き続き実施した。

) 講演会への講師派遣

講演会派遣回数 延28回

内訳(県外:23回、県内:5回)

派遣依頼先は、各県栄養士会・研究会:8件、福祉関係団体:8件、自治体・大学:5件
各団体大会:4件、学会・セミナー:3件

) 研究開発の推進

大学等の公的機関からの要請に応え、ソフト食の共同研究に協力するとともに、栄養ケアマネジメントに関しては調査データの提供や分析などを行い、実効性の検証を行った。

また、研究成果については、国際学会や国内の学術大会において発表した。

* 詳細報告については、別冊「潤和リハビリテーション診療研究所平成19年度事業報告書」に記載

3) 在宅及び通所機能訓練の推進事業

市町村の行う保健福祉事業を支援する目的で、老人保健法及び身体障害者福祉法に基づく通所機能訓練と訪問指導に携わる理学療法士・作業療法士のスタッフを市町村に派遣した。なお、本事業については自治体独自の介護予防給付事業の検討などにより、平成19年度は1町のみ派遣依頼となった。

平成19年度の実績は次のとおりである。

派遣先	区 分	年間派遣回数(回)
宮崎県東諸県郡国富町	訪問指導	36
	通所機能訓練	15

(括弧内は月平均)

2 附属機関の運営事業

1) 潤和会記念病院

当院は、従来より脳血管障害の急性期医療から慢性期医療に至るまでの一貫した脳血管障害医療に取り組んできた。現在は医療圏の中での脳血管障害の救急医療センター的役割も果たしている。平成19年度は、平成20年度よりのDPC対象病院への移行を目指し、急性期病院としての質の充実に努めた。その第一は5月より7対1看護体制を取り看護の充実に努めた。第二に年々増加している手術件数に対応するために、9月より手術室を1室増室し手術適応患者の受け入れ体制を整備した。更に第三として、12月には数週間待ちとなり患者に不便をかけていたMRIを1台(3T)増設し、画像検査体制の充実と画像診断の質の充実を図った。第四には、9月より一般病床を20床(急性期病床9床、回復期病床11床)増床し、患者受け入れ能力の向上も図った。又、ハード面の充実のみならずスタッフの充実にも努め、医療の質の向上の取り組みを継続して行っている。スタッフにおいては7対1看護実現の為に看護師の増員のみならず、医師3名(内科、ペインクリニック、整形外科)や薬剤師、放射線技師等々の増員を図り、ハード、ソフト両面から急性期医療への取り組みを強化してきた。急性期疾患へ対応として、従来の脳卒中に加えもう一つの柱として、わが国の4大疾病の中でも最も死亡率の高いがんへの対応を強化し、地域医療に貢献していく為の取り組みも着実に推進しており、平成20年4月より、県内では初となる高精度の放射線治療装置を導入して、がんの放射線治療や外来化学療法を開始する為の準備を進めた。DPC対象病院としてのスタートは平成20年4月を予定しており、その準備として19年度で行ってきた急性期医療の充実は手術件数の大幅増、平均在院日数の短縮等、着実に成果を上げている。

入院・外来等調

病床数	病床区分	4～8月	9～3月
		426床	446床
平均入院患者数 (1日平均)	急性期病床		140.0人
	回復期リハ病床		141.1人
	医療療養病床		100.9人
	全病床		382.0人
平均在院日数 (年間平均)	急性期病床		17.0日
	回復期リハ病床		89.9日
	医療療養病床		390.6日
	全病床		47.0日
入院患者延べ数	急性期病床		2,807人
	回復期リハ病床		139人
	医療療養病床		23人
	全病床		2,969人
退院患者延べ数	急性期病床		2,368人
	回復期リハ病床		521人
	医療療養病床		87人
	全病床		2,976人
外来患者延べ数	(初診患者数)		8,753人
	(再診患者数)		40,012人
	合計		48,765人

2) 潤和会検診センター

当検診センターでは、健康増進及び生活習慣病に対する脳ドック検診、政府管掌健康保険生活習慣病予防検診を主体に実施してきた。

本年度よりマンモグラフィを導入し、乳がん検診も本格的に取り組みを始める等、受け入れ体制の充実と健康維持・増進への啓発活動の取り組みの結果、政府管掌検診は大幅に検診数を伸ばすことができた。しかしながら、脳神経外科医師の1名減により11月より脳ドックの休止のやむなくに至り、脳ドックの検診件数は減少する結果となった。

事業の状況

	平成18年度	平成19年度
政府管掌検診	1,149名	1,839名
脳ドック検診	214名	159名
その他の一般検診	301名	432名

3) 延岡リハビリテーション病院

当院は、地域社会に貢献できる医療の質を保ち、当院の特性であるリハビリテーションの専門性を打ち出し、脳血管疾患・整形外科関連の亜急性期・回復期から慢性期に及ぶ医療とケアの地域ニーズを的確に捉え、利用者に満足していただける医療・介護を提供することを基本としている。医療を取り巻く環境が変化している中、本年度は回復期リハビリテーション病棟の開設へ向けて、又居宅介護サービスの充実を図るべく、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所の開設に向けて、施設の増改築工事を行った。

入院に関しては、県北地区での地域連携バスや病病連携を駆使しリハビリ対象患者のスムーズな受け入れ体制を強化している。より質の高いリハビリテーション医療の提供を行うとともに、リハビリテーション医療の一層の啓発、普及及び拡充を図るため、大学、各種専門学校等との連携した諸実習受け入れや研修、研究事業等を行った。

入院・外来等調

病床数	80床
平均入院患者数(1日平均)	77.0人
平均在院日数(年間平均)	139.6日
入院患者延べ数	199人
退院患者延べ数	205人
外来患者延べ数(年間)	16,579人
内訳) 初診者数	1,126人
再診者数	15,453人
平均外来患者数(1日平均)	56.3人

4) 所沢リハビリテーション病院

所沢リハビリテーション病院では、療養病床の転換方向について、地域の医療・介護ニーズに照らして検討を行った。その結果、次期介護保険事業計画の動向を確認したうえで再検討することとした。地域医療ニーズに適切に対応するため、入院前訪問面談などの入院管理、医療病棟と介護病棟の利用者の流れなど病床管理、医療病棟での重度対応などの体制を整備した。訪問看護ステーションらばんは地域的需要が少ないことから7月末を以って休止した。訪問リハビリテーションは新規需要が急激に増加し対応を強化した。通所リハビリテーションはサービスの質を向上するため訪問セラピスト育成の体制を強化した。

入院・外来等調

病床数	112 床
平均入院患者数（1日平均）	91.1 人
平均在院日数（年間平均）	237.3 日
入院患者延数	145 人
退院患者延数	136 人
外来患者延べ数（年間）	486 人
内訳） 初診者数	49 人
再診者数	437 人
平均外来患者数（1日平均）	1.3 人

5) 介護老人保健施設 ひむか苑

介護保険制度の方向性の中で、平成 24 年 3 月迄に介護療養病床の廃止が決まり、それに伴い介護療養病床（病院）から「療養型老人保健施設」として施設基準の名称が定まった。

平成 20 年度から同じ老人保健施設に従来型・転換型の 2 種類の機能を持つ施設運営が行われる事になり、当苑においては従来型介護老人保健施設の理念としてのリハビリテーションサービスを行い、入所者・通所者の生活機能向上を目的とした在宅復帰生活支援の在り方に強化策を打ち出して、20 年度を迎えるにあたり医療重視型老健施設との機能分担を図った。

なお、介護療養病床の廃止による患者及び利用者の一連の流れを、当苑でより多くの方に利用できるよう幅広い入退所システムを構築して、業務の負担増にもかかわらず、各職種間の協働による業務の効率化をより一層図り、地域の行政機関と協力し、自立した在宅生活ができるよう支援活動をおこなった。また、当苑は（社）宮崎県老人保健施設協会事務局を担当しているの、協会の研究大会及び各運営委員会による研修会等により、県内介護老人保健施設の質的向上に寄与した。その他委託事業として、行政各方面からの委託要請にも応えた。

入所・通所調

定 数	入 所 132 床 (認知症専門棟 30 床含む) 通 所 40 床
1 日平均一般入所者数（年間）	123.0 人
1 日平均短期入所者数（年間）	2.8 人
1 日平均一般通所者数（年間）介護予防含む	25.8 人
1 日平均介護予防通所者数（年間）	2.0 人

6) 潤和会在宅医療支援センター

在宅医療支援センターは昨年の介護保険法改正後の安定的運営を目標に各部門は取り組んできた。昨年の改正で示された在宅重視の施策に沿って、各事業所は業務の効率化をはかり、増加する対象患者の需要に対応してきた。特に訪問リハビリテーション事業は訪問看護ステーションからリハビリテーションサービスを提供できなくなったことの影響を補完し維持期リハビリテーションの充実に努めた。その結果延利用者数は前年比 159%増加した。訪問看護ステーションやわらぎは、より身近な地域に訪問の範囲を絞り、地域に密着した訪問活動を強化した。その結果終末期を含めた個々のサービス内容が充実した。通所リハビリテーションあびりんすは、介護予防の効果検証及び市町村が実施する介護予防事業への協力を積極的に進めた。潤和居宅介護支援事業所は支援困難事例への取り組みを強化した。

事業の状況

(単位 = 件)

種別	介護保険	医療保険	計
訪問看護	3,126(3,300)	1,815(1,677)	4,941(4,977)
訪問リハビリテーション	6,955(4,377)	1,355(1,069)	8,310(5,446)
通所リハビリテーション	3,658(3,292)		3,658(3,292)
居宅介護支援事業所	1,491(1,436)		1,491(1,436)

(括弧内は前年度)

理学療法士養成事業

宮崎リハビリテーション学院

平成 17 年の台風 14 号による浸水被害以降計画を進めてきた新校舎建築が平成 20 年 2 月に完成し、同時に従来の理学療法学科（昼 3 年）に加え、理学療法学科（夜 4 年）、作業療法学科（昼 3 年）の新学科設置の承認を受け、財団の寄付行為に謳う「リハビリテーションの関係者の養成及び研修」をより一層推進するための教育環境が整備された。

平成 19 年度は新校舎への移転を見据え、教員の確保、教材や図書を選定、教育機材の充実、防火防犯対策の強化、及び新カリキュラムの策定など新たな教育体制の構築を検討し準備を進めてきたが、順調に推移し円滑に移行することができた。

学生教育の面では、1 年次から臨床体験実習や地域研修を取り入れ、2 年次においては従来離島に出向き行ってきた地域リハ研修を、今回は宮崎県南部の日南・串間方面にて 2 泊 3 日で地域におけるリハの現状や活動状況を体験する機会を設け、本学の特色である「地域リハビリテーションの実践教育」を実行した。

教員については、計画的に実施している長期の教員研修や専門分野の学会に派遣し、より専門知識の高い教員の育成に努めた。同時に、学生との面談を密に行い、早目の状況把握や早期対応を心がけ精神面でのサポートを強化した。

1) 平成 19 年度主な行事

(1) 入学式（第 26 期生）

平成 19 年 4 月 3 日（入学者数 57 名）

(2) 臨床実習指導者会議（第 24 期生）

平成 19 年 4 月 20 日（宮崎市）

(3) 講師会議

平成 19 年 5 月 11 日（宮崎市）

(4) 県内専修・各種学校対抗スポーツ大会

平成 19 年 7 月 4 日～ 5 日（宮崎市）

(5) 地域研修（2 年生県南地区訪問リハ研修）

平成 19 年 8 月 7 日～ 9 日（宮崎県日南市・串間市）

(6) 九州管内専修・各種学校対抗スポーツ大会

平成 19 年 11 月 20 日～ 11 月 22 日（佐賀市）

(7) 就職説明会（3 年生）

平成 19 年 11 月 6 日～ 7 日

(8) 理学療法士国家試験

平成 20 年 3 月 2 日（福岡市）

* 国家試験結果：24 期生 50 名受験 合格者 46 名 合格率 92%

（全国平均合格率 86.6%）

(9) 卒業式（第 24 期生）

平成 20 年 3 月 7 日（卒業生 50 名）

処務の概況

1) 役員・評議員に関する事項

役員・評議員名簿

役職	氏名	就任年月日	常勤 非常勤
評議員	北野 正二郎	H11.7.21	非常勤
評議員	知覧 良久	H11.7.21	非常勤
評議員	見島 昭二	H11.7.21	非常勤
評議員	米良 充典	H11.7.21	非常勤
評議員	菅野 通雅	H14.6.20	非常勤
評議員	大野 篤則	H17.7.1	非常勤
評議員	高橋 均	H17.7.1	非常勤
評議員	原 正行	H17.7.1	非常勤
評議員	河野 寛一	H19.4.1	非常勤

役職	氏名	就任年月日	常勤 非常勤
理事	大野 和男	S54.4.18	常勤
理事	北林 嘉紘	H16.4.1	常勤
理事	國武 眞木雄	H8.3.22	非常勤
理事	川越 豊	H11.7.1	非常勤
理事	谷 仲吉	H5.5.27	非常勤
理事	呉屋 朝和	H13.4.1	非常勤
理事	大野 拓郎	H15.4.1	非常勤
理事	中村 彰利	H19.4.1	非常勤
理事	綾部 隆夫	H19.4.1	非常勤
理事	大野 順子	H19.4.1	非常勤
監事	塩原 修蔵	H9.6.13	非常勤
監事	川上 清治	H19.4.1	非常勤

3) 職員に関する事項

職	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	北林 嘉紘	H15.4.1	事務全般	
総務部長	野津原 雄治	H16.4.1	〃	
他 924 名				

4) 理事会に関する事項

開催年月日	議 決 事 項	開催当日における理事の現在数及び議決権を行使した理事の数並びに議事の結果
平成 19 年 6 月 22 日	<p>平成 18 年度事業報告について</p> <p>平成 18 年度決算について</p> <p>延岡リハビリテーション病院増改築と増改築資金借り入れについて</p> <p>評議員の選出について</p>	<p>理事総数 10 名 出席 9 名 欠席 1 名 (委任状 1 名提出) 監事総数 2 名 出席 2 名</p> <p>平成 18 年度事業報告について事務局より説明</p> <p>平成 18 年度決算について事務局より説明 監事の監査結果報告</p> <p>延岡リハビリテーション病院増改築と増改築資金借り入れについて事務局より説明</p> <p>評議員の選出について事務局より説明</p> <p>いずれも全員一致で承認可決</p>
平成 20 年 3 月 19 日	<p>平成 19 年度収支予算の補正について</p> <p>平成 20 年度事業計画案について</p> <p>平成 20 年度収支予算案について</p> <p>平成 20 年度長期借入金の借入限度額の承認について</p> <p>宮崎リハビリテーション学院の学則変更について</p> <p>宮崎リハビリテーション学院臨床実習施設の変更について</p>	<p>理事総数 10 名 出席 8 名 欠席 2 名 (委任状 2 名提出) 監事総数 2 名 出席 1 名</p> <p>平成 19 年度収支予算の補正について事務局より説明</p> <p>平成 20 年度事業計画案について事務局より説明</p> <p>平成 20 年度収支予算案について事務局より説明</p> <p>平成 20 年度長期借入金の借入限度額の承認について事務局より説明</p> <p>宮崎リハビリテーション学院の学則変更について事務局より説明</p> <p>宮崎リハビリテーション学院臨床実習施設の変更について事務局より説明</p> <p>いずれも全員一致で承認可決</p>

5) 評議員会に関する事項

開催年月日	審 議 事 項	開催当日における評議員の現在数及び審議した評議員の数並びに議事の結果
平成 19 年 6 月 22 日	<p>平成 18 年度事業報告について</p> <p>平成 18 年度決算について</p> <p>延岡リハビリテーション病院増改築と増改築資金借り入れについて</p> <p>報告事項「評議員の改選について」</p>	<p>評議員総数 9 名 出席 8 名 欠席 1 名 (委任状 1 名提出) 監事総数 2 名 出席 2 名</p> <p>平成 18 年度事業報告について事務局より説明</p> <p>平成 18 年度決算について事務局より説明 監事の監査結果報告</p> <p>延岡リハビリテーション病院増改築と増改築資金借り入れについて</p> <p>評議員の改選について全員再任されたことを事務局より報告</p> <p>いずれも全員一致で同意</p>
平成 20 年 3 月 19 日	<p>平成 19 年度収支予算の補正について</p> <p>平成 20 年度事業計画案について</p> <p>平成 20 年度収支予算案について</p> <p>平成 20 年度長期借入金の借入限度額の承認について</p> <p>宮崎リハビリテーション学院の学則変更について</p> <p>宮崎リハビリテーション学院臨床実習施設の変更について</p>	<p>評議員総数 9 名 出席 8 名 欠席 1 名 (委任状 1 名提出)</p> <p>平成 19 年度収支予算の補正について事務局より報告</p> <p>平成 20 年度事業計画案について事務局より説明</p> <p>平成 20 年度収支予算案について事務局より説明</p> <p>平成 20 年度長期借入金の借入限度額の承認について事務局より説明</p> <p>宮崎リハビリテーション学院の学則変更について事務局より説明</p> <p>宮崎リハビリテーション学院臨床実習施設の変更について事務局より説明</p> <p>いずれも全員一致で同意</p>

6) 契約に関する事項

契約締結年月日	契約の相手	契約の概要
平成19年4月1日	宮崎県	認知症介護実務者研修事業委託契約
平成19年4月1日	宮崎市福祉事務所	要介護認定調査委託契約
平成19年4月1日	国富町	国富町通所機能訓練業務委託契約
平成19年4月1日	国富町	国富町在宅機能訓練業務委託契約
平成19年4月1日	宮崎市郡医師会	宮崎市国民健康保険人間ドック及び脳ドック検査に係る協定
平成19年4月1日	宮崎県市町村職員共済組合	予防検診事業委託協定
平成19年4月1日	宮崎社会保険事務局	政府管掌健康保険生活習慣病予防検診契約
平成19年4月2日	宮崎市	初期認知症調査委託契約
平成19年4月2日	宮崎市	認定調査委託契約
平成19年5月1日	宮崎県	宮崎県地域リハビリテーション広域支援センター業務委託契約

7) その他の事項

ア. 主務官庁からの指示事項

主務官庁からの指示事項	指示年月日	指示事項に係る履行の状況
長妻昭君からの資料要求について(作業依頼)	平成19年4月2日	平成19年4月3日提出
公益認定等委員会からの資料要求について(作業依頼)	平成19年5月10日	平成19年5月14日提出
菊田真紀子事務所からの資料要求について(作業依頼)	平成19年6月28日	平成19年6月28日回答
尾立源幸君からの資料要求について(作業依頼)	平成19年8月7日	平成19年8月8日提出
地球温暖化対策に係る国民運動の実践について(依頼)	平成19年9月5日	平成19年9月14日回覧
平成19年度公益法人概要調査等の実施について(依頼)	平成19年10月5日	平成19年10月15日提出
公益法人の理事等が設立した営利法人との随意契約について(作業依頼)	平成19年10月22日	平成19年10月23日回答

電子申請利用促進に係る取組について (協力依頼)	平成 19 年 10 月 25 日	平成 19 年 10 月 25 日回覧
病院事業を行う公益法人について(照会)	平成 19 年 10 月 25 日	平成 19 年 10 月 26 日回答
公益法人と契約先企業等との兼業等に関する調査等について(依頼)	平成 19 年 11 月 1 日	平成 19 年 11 月 5 日提出
補助金等に関する確認(作業依頼)	平成 20 年 2 月 12 日	平成 20 年 2 月 19 日回答

イ.訴訟関係

議案	相手方	経過
なし		